

指定管理者評価委員会の評価結果（令和6年度）

令和6年9月27日

評価対象	施設名	加茂野保育園・加茂野児童館		
	設置目的・役割等	保育を必要とする乳児・幼児を日々保護者の下から通わせて保育を行うこと、児童に健全な遊びを与えてその健康を増進し、情操を豊かにするため		
	施設の所在地	美濃加茂市加茂野町鷹之巣1453番地		
	規模等	敷地面積	4,027 m ²	担当課
		延床面積等	1,591.69 m ² (鉄筋コンクリート造 2階建て)	こども未来課
	指定管理者名	株式会社セリオ		
	指定期間	R5.4.1～R8.3.31 (公募・非公募(任意指定))		

評価委員 (敬称略)	名城大学 都市情報学部教授 赤木 博文 岐阜協立大学 経済学部准教授 藤井 えりの 旅人総研代表 田中 三文 コンサルティングシスト代表 伊藤 慎悟
---------------	---

指定管理者・担当課の報告要旨	
<p><加茂野児童館></p> <p>【指定管理者の事業実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度は児童館まつり、夏休み小学生講座、伝承あそび、クリスマス会、お芋ほりなど、加茂野地域の方々に協力いただいて多くのイベントを開催した。 ・廃材を利用した制作や季節に合わせたミニ運動会など様々な企画を行った。 <p>【運営上の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童館内で乳幼児と小学生が一緒に過ごす時は、事故などが発生しないよう安全管理に細心の注意を払う必要がある。 ・利用者アンケートでは、利用に対して満足していただいている意見が多くあったが、満足してもらえていない意見もあったので改善していきたい。要望等については、今後も美濃加茂市に相談するとともに保育園との連携を図りながら活動を進めていく。 ・小学生の利用に関して、夏休みの小学生の行事などの時は来館が多くなるが、平日は児童館ホールが使用できないこと、習い事、学童保育利用などで来館者数が少ない状況。 <p>【改善事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童館まつりは、コロナ禍後に規模を縮小して復活させ、乳幼児の親子のみを対象にして開催した。それにより、小さなお子様でもゆったり参加できた。 ・クリスマス会は、令和4年度は月齢別に行っていたが、月齢別でなく年齢関係なしに土曜日の開催にしたことで、家族での参加が可能になり喜ばれた。 <p><加茂野保育園></p> <p>【概要について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園児数は令和5年4月に149名でスタートし、転居などで令和6年3月は145名となった。 ・職員配置は、職員採用が順調に進んでおり、現在は29名の体制で手厚い配置をしている。 ・すもう大会や芋ほり等加茂野保育園の伝統行事を継続し、参加者に喜んでもらえた。 	

・職員研修は、県内の研修を中心に参加しており、大阪の本社での研修も実施している。

【改善事項】

①特別保育について

・公立保育園の際も行っていた特別保育(リミック、サッカー教室)は、年6回から年9回に回数を増やした。体操教室については、令和5年度から毎月実施しており、令和7年度からはリミック、サッカー教室も毎月実施予定。令和6年10月からは英会話も月に1回実施予定。

②研修について

・園内研修は、研修委員会を園内で立ち上げて、職員が研修テーマを考えて研修を開催しており、看護師による衛生研修も行っている。その他、外部講師を招いた研修なども(株)セリオ独自の研修として実施した。

③広報活動について

・保育の透明性を図るために、ICTを活用した動画発信をしている。現在は、行事だけではなく日常保育についても毎日情報配信している。また、保護者が保育士として参加する機会を設け、保育園の透明性に努めた。
・毎月、配布している園だより、クラスだより、ほけんだより等について、データ配信の取組も始め、保護者からはスマートフォンで閲覧できると好評を得ている。

④その他の取組

・令和5年度より看護師を配置して、怪我の時の手当てや毎日保育士の巡回と朝の視診で体調不良者の保育を行うようにした。
・多くの外国籍利用者への対応として、市の協力を得て毎月2回プレスクールを開催し、小学校入学に向けて日本の文化や日本語に触れてもらっている。通訳の雇用もしており、おたより等の文書の翻訳を依頼している。
・(株)セリオで事故報告5分ルールを定め、事故の際に本部に5分以内に報告する体制を整えた。
・情報共有は大きな課題であったため、毎月市のとの定例会で相談しながら、クラスノートと申し送りノートを作成して申し送りを行うようにした。
・児童館と連携して園庭開放を実施し、先日第1回目を実施した。
・「紙おむつのサブスク」というサービスを希望者に提供し、毎月おむつとおしりふきが使いたい放題にして、手ぶら保育に繋がっている。

〈担当課からの報告〉

【運営上の課題】

・引継ぎ当初は、保育士等の人員体制が計画通りに整わなかった。また、副食費の誤請求等があり、複数の保護者からの苦情・問合せ等への対応に追われていた。
・児童館は18歳未満の子どもを対象とした施設であるが、加茂野児童館は主に乳幼児を対象とした行事を実施しており、市内の他の子育て支援施設との差別化が図られていない。

【改善事項】

・指定管理導入後に土曜保育の実施や0歳児の受け入れを行うなど、サービス向上が図られている。
・6月以降は、毎月随時モニタリングを実施し、事業者と連絡調整を図っている。後期は、計画的な保育士等の人員採用、システムの導入や保護者とのコミュニケーションの改善、保育士間のコミュニケーションの改善や保育観の共有が図られ、園は安定的に運営されている。
・児童館について、以前までは小学生・乳幼児親子の利用時間が制限されていたが、利用者の利便性向上のために利用時間制限を廃止して、利用しやすい施設になるように改善している。イベント予約について先着順から予約受付システムに変更したことで、利用者の利便性を高めることができた。

【将来的な民営化について】

内容：令和5年度から指定管理者制度を導入し、令和7年度までの指定管理の実績により、令和8年度から民営化する予定としていたが、今年度に入り今後の予定を一部変更して、指定管理期間を2年間延長する

ことで、令和9年度までの5年間の実績によって民営化の可否を判断する予定に変更した。

理由①: 保護者アンケートの結果から、加茂野保育園と公立保育園で平均 14%程度の差が出ており、保護者の満足度を上げてから民営化する必要があるため。

理由②: 令和 8 年度から民営化するためには、令和 6 年度までの実績で民営化を判断することになるが、令和 5 年度前期の移行期間で運営が上手くいっていない部分があり、モニタリング期間を延長する必要があると判断したため

理由③: 令和6年3月に(株)セリオの経営体制が変更されており、経営体制や経営方針に変化はないか確認するための期間が必要だったため。

理由④: 今後、実施予定の自主事業(新規事業)等の検証に時間を要するため。遊戯室の利用についても、児童館を放課後児童クラブや保育園と共同で使っているような形になっており、その課題解決にも時間が必要になるため。

総合評価結果

二次評価

B

・指定管理導入後、初年度ということもあり、上半期は様々な課題があったものの、下半期に改善が見られたため「B」評価とする。引き継いだ当初に多少の混乱があったのは致し方ない。

・加茂野保育園については、一次評価で「C」評価となった項目について、その項目の重要度を分析しなければいけない。加茂野児童館については「A評価」の項目が複数見られるものの、保育園のアンケートにおいて満足度が低い結果を踏まえると、現在の指定管理者が運営を継続する上で、若干心配な面がある。

・二次評価における「C」評価の基準から判断すると、改善を図る姿勢は見られるため、「C」評価には該当しない。

要改善・勧告事項

【指定管理者に対する要望・指摘】

①セルフモニタリングの評価結果について

・保育園の指定管理者の自己評価がすべての項目で「B」評価以下である点は、改善が必要である。今年度は複数の項目で「A」評価を付けられるよう努力してもらいたい。

②地域連携について

・スケールメリットにより効率的で先進的な取組が取り入れられる一方で、地元根付いた事業者ではないため、地域との連携や地域資源の活用の点が弱いと感じる。

③運営の継続について

・指定管理者が運営している他の園は全て都市部であり、美濃加茂市のような地方で事業を展開するということは効率も良くなく、負担となる部分もあるのではないかと。美濃加茂市において今後も長年にわたり、子供たちを支える事業を継続してもらえるのか不安があるが、是非運営を継続してもらいたい。

そ の 他 指 摘 事 項

【市に対する要望・指摘】

①民営化に向けたリスク対策について

・民営化後に事業者が撤退する可能性もあり、その場合の土地建物の取り扱い等は明確にしておくべきである。
民営化を進めるに当たり、様々なリスクを想定して対応策を考えておく必要がある

②指定管理者との意見交換について

・市と指定管理者との関係は良好であると感じるが、長く関係を継続させるために意見交換を継続してほしい。
美濃加茂市において将来にわたり事業を継続してもらうために、市として事業者側の意見・要望も聞いた上で、民営化等を進めていくようにしてほしい。

●二次評価の判定基準

総合評価	基準
A(優 良)	施設の維持管理・運営を適正かつ効果的・効率的に行い、「サービスの向上」、「利用者数・稼働率の向上」及び「管理経費の縮減・費用対効果の向上」を図る具体的な取り組みを積極的に実施している
B(良 好)	施設の維持管理・運営を適正に行い、「サービスの向上」、「利用者数・稼働率の向上」及び「管理経費の縮減・費用対効果の向上」を図る具体的な取り組みを一部実施している
C(課題有)	施設の維持管理・運営を適正に行っているものの、一部課題があり、「サービスの向上」、「利用者数・稼働率の向上」及び「管理経費の縮減・費用対効果の向上」を図る取り組みもあり見られない
D(要改善)	施設の維持管理・運営に問題があり、早急な改善・勧告が必要である